

に度量の大きなもので御座います、此の氣前は私と少しも違はん……これは餘り當になりませんが、石部金吉郎は十分に殿様に意見をして置いて、大きな身體をモウ一層大きくして退つて参りました、家來衆一同は○「石部氏、お身のお蔭でモウ今晚から頭の腫が治ります、これで妻子の喜びは如何ばかり」△「ヤア石部氏、貴殿のお働きに依つて拙者の壽命が延びる様に思ひます」中にも根性の悪い家來は、殿様は石部に頭を殴られて何んな顔をして居るか知らんと殿様の顔色を見に来よる奴がある。○「若君には麗はしき御尊顔を拜し奉り只だくお目出度う存じます」若「ウム、今日は餘り目出度くないわい」○「ハツ、如何召されたので」若「石部奴、鐵扇で予の頭を三つ打ちをつたのぢや」○

盲人保護赤ステッキ

目の開いている人が目の見へない人につきあたるのは如何にも不合理です、故に私共は御大典記念事業の第一着手として、全國の盲人がたに
赤ステッキを贈る事に致しました。
赤ステッキを持つてゐる人は目の見へない人ですから、自動車や電車、自轉車その他、通行の人々は氣をつけてあげて下さい。
入用の方は個人團體を問はず申込下さい。

萬國奇術研究會社會部

金 春 昌 廣

大阪市東區博勞町五丁目
電話船場四一三六番

「へーッ、石部奴、下司下郎の分際をして主の頭を鐵扇で打つなどは無禮千萬、此の由お目附へ申し出で閉門の上切腹を申し附けまする」若「コレくそりや不可んのぢや」○「何故不可ませんので」若「予が將棋を差して敗けたのぢや、それで打ちよつたのぢや」○「オ、若君が將棋にお敗けになりましたので、これはくお目出度……」若「何の目出度いことがあるものか」家來衆は皆大喜びです、暫時致しますると又殿様が呼んで御座る。若「臣等一同参れく」○「又殿様が呼んでまつせ、難儀でやすな、また將棋ぢや御座いまするか」△「モウ將棋の氣遣は御座いません、將棋盤は焼いてしまひましたから」○「夫れでは今度は碁ですかな」△「碁は五目並べ位より知りません」○「何んでも行かんとゴテだつせ……ハ、ツ、お呼び遊ばせ」若「フム、予は所在がないぞ」○「又所在がない、所在がないには叶ひませんな」△「難儀やな」若「何うぢや其の方共、予が話をしてやる、落し噺ぢや、面白いものぢやぞ、併し面白かつたら皆笑へよ」○「モシ、殿様が落し噺をしてやらうと仰しやる」△「へー、結構ですな、私は落し噺が好きでな、一遍聞きたいと思ふて居りますが聞く折が御座いませぬので結構なことでは御座いませんか、落語をしてやるが面白かつたら笑へと仰しやる」○「フ、ン、落語家の方で笑へと催促する奴が御座いますかな、一體何んな落語を聞かして下さるのぢやらう」若「石の上に龜が居よつたのぢや」○「ア、こりや大分下手だな」△「餘程下手や……へい……」○「誰や横手から返事をしなはつたのは、落語を聞いて返事をする阿呆がおまつかないな」△「併し返事せ